



オープニングの千願華太鼓

4 / 14・15



「鼓童」が力強い演奏を披露

成田太鼓祭

節目を記念し1,082人が演奏

日本屈指の太鼓の祭典「成田太鼓祭」が成田山新勝寺や表参道を会場に行われました。今年は成田山開基1080年と成田国際空港開港40周年を祝っての開催。全国各地から集まった65団体1,082人の出演者が一斉に太鼓を打つ千願華太鼓が開幕を飾りました。14日夜には国内外で活躍する太鼓芸能集団「鼓童」が千一夜舞台上で特別演奏を披露し、境内に圧巻の音色を響かせました。15日は雨天のため縮小開催となりましたが、打ち手たちは元気よく会場を盛り上げました。



かぶとを着けてポーズ

オリジナルかぶとづくり

4 / 22

格好いい武者に変身

5月5日の子どもの日を前に「オリジナルかぶとづくり」が子ども館で開催されました。参加したのは小学1年生から6年生の19人。黒く塗ったざるをかぶとに見立て、色紙やシール、テープなどで装飾しました。上級生が下級生の手伝いをするなど、みんなで協力して個性豊かなかぶとを作製。完成した作品を笑顔でかぶる姿が見られました。



金色の厚紙でかぶと前面の飾りを作る



伝統の獅子舞は迫力満点

西大須賀の春の祭礼

江戸から続く伝統文化

4 / 14・15

西大須賀の春の祭礼が、八幡神社と耀窟神社^{ようくつ}で2日間^{よひ}にわたって行われました。2日目は子どもたちが神楽櫃^{かみづ}を曳き廻^{まわ}して耀窟神社へ。境内では拝殿^{まがらみ}での祈禱^{いとう}や、湯立神事^{ゆだて}が行われ、参加者は無病息災^{むびょうそくさい}を祈願しました。神事の後は、江戸時代から受け継がれてきた市の指定無形民俗文化財の獅子神楽^{ししあそび}が奉納され、訪れた人たちは激しく動き回る舞に見入っていました。

郵便局のみまもりサービス協定締結式

ふるさと納税の返礼品に

4 / 18

本市と日本郵便株式会社は「郵便局のみまもりサービス」をふるさと納税の返礼品とすることに関する協定を締結しました。返礼品となった「みまもり訪問サービス」とは、寄付金額に応じて6カ月から1年の間、本市で暮らす高齢者などの自宅に郵便局社員などが月1回訪問し、生活状況を確認して、その結果を市外に住む家族にお知らせするものです。協定の締結により、離れて暮らす家族が安心して過ごすことができるかと期待されています。



協定書を手にする小泉市長(右)と郵便局関係者



家族で力を合わせて

親子たけのご掘りと竹細工教室

今年はどっさり豊作

4 / 21

春の味覚を収穫しようと「親子たけのご掘りと竹細工教室」が八生公民館で行われ、13組33人の家族が参加しました。参加者は集まると早速、地元のボランティアと公民館裏の竹林へ。タケノコは例年に比べ豊作で、全員で協力して約100本を掘り出しました。タケノコ掘りの後は、しの鉄砲や弓矢などの竹細工を作って楽しみ、最後は掘りたてのタケノコのみそ汁を味わい、旬の味覚を満喫しました。

エアポートマーケット空市

空港周辺の魅力を感じる

4 / 22

成田国際空港の利用促進を図るため、周辺自治体などがPRイベントを行う「エアポートマーケット空市」が同港第2ターミナルビル前中央広場で催されました。メインステージではダンスパフォーマンスやお楽しみ抽選会が開催。ほかにも、成田市のサツマイモをはじめ県内外の市町の特産品が販売されたり、航空会社による制服着用体験コーナーが設けられたりするなど、会場は多くの家族連れでにぎわいました。



抽選発表にたくさんの人が集まる